

議会の動き

2月8日 県北中央町村議会議長会議員研修会

2月8日(水)、東海村にて、県北中央町村議会議長会主催の研修会が開催されました。

当日は、講師として茨城県知事を迎え、「茨城県における地方創生の取り組みについて」の講演が行われました。

講演では、県人口ビジョンなどが取り上げられました。



茨城県知事 橋本 昌氏



2月21日 町村議会議員自治研究会



山形弁研究者 ダニエル・カール氏



茨城県総務部長 菊地 健太郎氏

2月21日(火)、茨城県市町村会館にて、町村議会議員自治研究会が開催されました。

県内12町村の議会議員約200人が参加し、講師として茨城県総務部長菊地健太郎氏による「国の政策、県の政策、地方行政の方向性」、また山形弁研究者ダニエル・カール氏からは「日米文化比較論〜人づくり・街づくり〜」と題して講演が行なわれました。



茨城県町村議会議長会より本町議会議員が受賞



根本正典議員

鯉淵秀雄議員

2月16日(木)茨城県市町村会館で開催された町村自治功労者表彰式において、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、左記の議員が受賞されました。

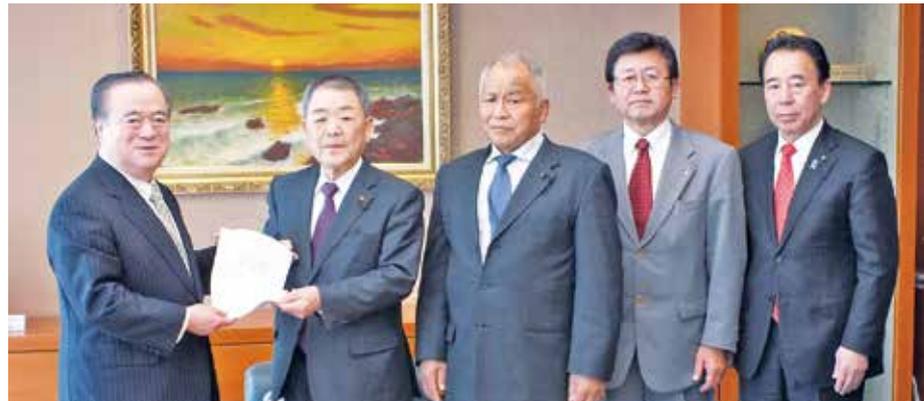
茨城県町村議会議長会から

議員在職20年以上

根本 正典 議員

鯉淵 秀雄 議員

2月24日 城里町議会 国道123号バイパス知事要望



2月24日(金)、茨城県庁において、橋本昌景知事に対し「国道123号バイパス早期完成に向けた要望書」を提出しました。



国道123号バイパスの早期完成要望について

国道123号は、城里町と水戸市を結ぶ重要幹線国道で、城里町内の約7.6kmの桂常北バイパスが計画されています。そのうち、坏～石塚間の約1.5kmが優先整備区間として地方道路整備事業により一部通行開始されたところですが、全面開通はされていません。

本路線は、広域的な幹線道路として産業活動や観光に重要な役割を担っているだけでなく、平成22年の国勢調査では、城里町民の37%、約3600人が水戸市に通勤・通学しているとのデータもあり、生活道路としても非常に重要な位置を占めています。

また、近年の市街地の発展には国道バイパスの完成が必要不可欠である事は言うまでもありません。

以上の事から、城里町内の国道123号バイパスが少しでも早く全面開通できるよう強く要望いたします。

城里町議会議長 小林 祥宏